

二〇一九年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」・「解答例」について

国語【昼間コース 一般入試…前期日程】

問題 一

出題意図

本文は、「概念（概念化）」と「思考のはたらき」の関係について説明した文章である。論旨は明快かつ文体は平易であり、高等学校卒業程度の基本的な国語読解力があれば十分に理解可能である。設問は、基本的な語彙力、具体例が示す内容を正確に把握・理解する力、筆者の主張を正確に読解し、具体的な事象で把握できるかを問うもので構成されている。

評価ポイントまたは解答例

問一 一般的な評論文等で用いられる範囲の難易度の漢字について、書き取り・読み取りが正確にできていること。

問二 [解答例] a 2 b 5 c 4 d 3

問三 [解答例] 共通性

問四 筆者の考え、本文の意図を正確に把握し、適切な具体例を明示できていること。

問五 該当部分が示す箇所を正確に把握し、設問文の指示に従って書けていること。

問六 該当部分が示す箇所を正確に把握し、設問文の指示に従って書けていること。

問七 [解答例] サーチライト

問八 [解答例] (1) × (2) × (3) ○ (4) × (5) ○

問題二

出題意図

古文に頻出する古語や定型的表現を理解しているか、高等学校で学習する古典文法や和歌についての知識を一定以上習得しているかを問う。また、これらを用いて、古文の文章、意味・内容（文脈・状況設定や登場人物の考え・心情など）を正確に把握できているかどうかをみる。さらに、日本古典文学史について基礎的な知識を持っているかを確認する。

評価ポイントまたは解答例

問一 古文でよく見られる古語を正しく読み書くことができていること。

問二 〔解答例〕 職業

問三

(1) 〔解答例〕 和歌

(2) 〔解答例〕 出雲

問四

(1) 『古今集』『仮名序』の文章を参照し、該当箇所の文脈に合う表現を『古今集』『仮名序』から選び、正しく書くことができていること。

(2) 『古今集』『仮名序』の作者の名前を知っていて、漢字で正しく書くことができていること。

問五 本文の内容と該当箇所の古語・古典文法を理解できていること。正しい現代日本語に訳すことができていること。

問六 主人公の配流体験と和歌への思いといった、本文の内容・文脈・状況を把握し、理解できていること。正しい現代日本語で説明できていること。

問題三

出題意図

地域経済の振興は、地域にお金を持つてくるだけでは十分ではなく、その流入したお金を地域内で循環・滞留させる必要性を論じた文章である。「外商」や「地域内乗数効果」など、なじみのない語句があるかもしれないが、論旨は明快であり、高等学校卒業程度の基本的な国語力があれば十分に理解可能である。設問は、基本的な語彙力、筆者の主張を正確に読解した上で、受験者自身の言葉で表現できるかを問うもので構成されている。

評価ポイントまたは解答例

問一 基本的な漢字について、読み取り・書き取りが正確にできていること。

問二 [解答例] ア 5 イ 3 ウ 4 エ 2 オ 1

問三 [解答例] I 呼び込み II 漏れバケツ

問四 ① 該当部分について説明している部分を問題文から抽出できていること。

② 筆者の理解を踏まえたうえで、具体的な方法を考え説明できていること。

問五 従来の地域経済振興策と対比させて、筆者が考える望ましい地域経済振興策を字数内での確に説明できていること。

問六 説明文に沿って、その内容を適切に理解し、空欄を埋めるのにふさわしい数字・アルファベット・語句を導き出せていること。

問七 [解答例] ① × ② × ③ × ④ ○

問題四

出題意図

本文は唐代の著名な官僚にまつわる不思議な話（伝奇）である。文章は平易でありながら曲折もあり、高等学校で学習した漢語・漢文の能力を用いて十分に理解できる内容である。問題では、本文に用いられた漢語に関する知識の有無、漢文の語法への理解度を確認するとともに、話の流れを正しく読み解けているか、要点を簡潔かつ適切な日本語でまとめられているかを問うた。

評価ポイントまたは解答例

問一 [解答例] a よ b と c よ d ひそ

問二 [解答例] ① エ ② イ ③ イ ④ ウ

問三 本文の内容を理解した上で、漢文の語法にしたがい、正しく読み下せていること。

問四 本文全体を読み解き、薛存誠の予言、闇吏の夢、薛存誠の没年が符合していることを、百字以内で過不足なく適切な日本語で説明できていること。